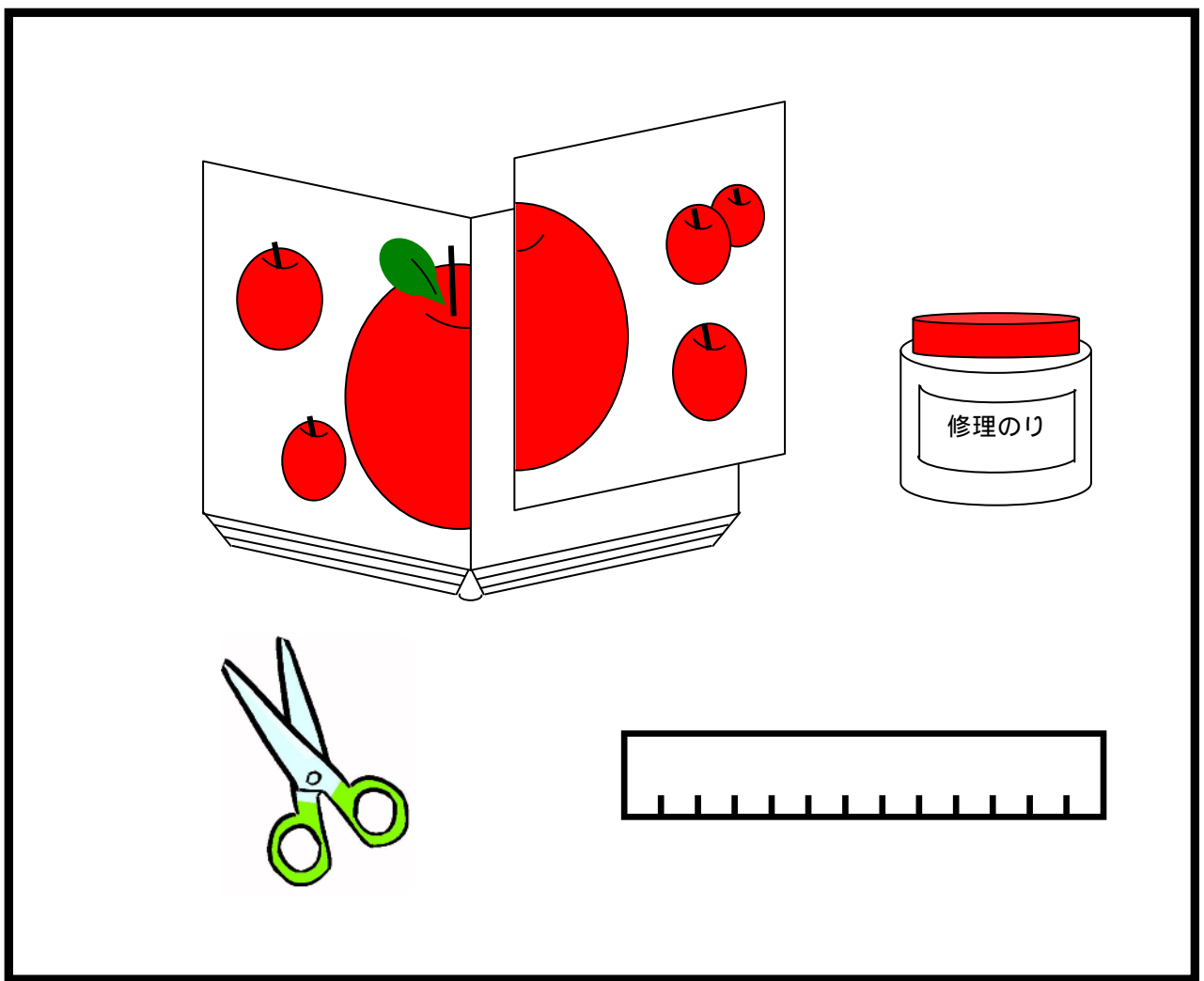


本の修理

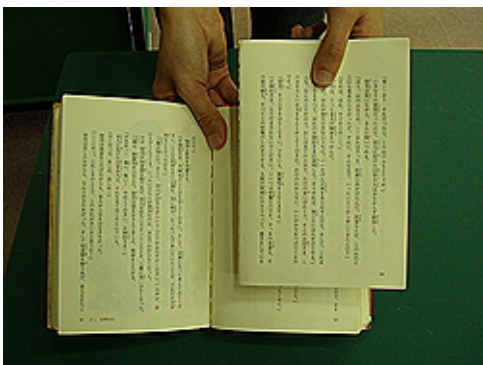


宮崎県立図書館

目 次

- 1 ページはずれ
- 2 糸がゆるんでいる場合
- 3 やぶれ（のり代がある場合）
- 4 セロテープをはがす場合
- 5 背表紙が壊れた場合(カバー無し)
- 6 カバーがやぶれた場合
- 7 糸とじ修理 1（糸が切れたり、ゆるんでバラバラになった場合）
- 8 糸とじ修理 2（無せん綴じの本 や 利用の多い本）
- 9 本のカバーの掛け方
- 10 補修用品
- 11 本の嫌いなこと

1 ページはずれ



- 1 1枚～数枚本体からはずれている、もしくは途中から取れかかっている場合



- 2 ビニール糊をはずれている箇所に薄く延ばす
糊の量が多すぎると乾いた時に内側にはみ出すので注意すること

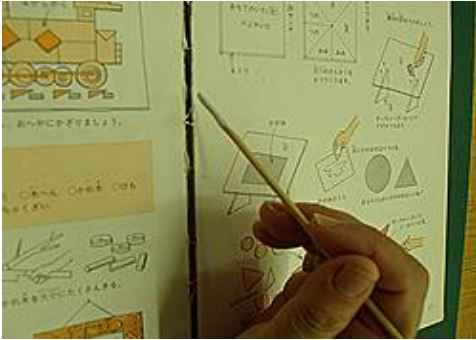


- 3 本体に貼り付ける。



- 4 本をとじ、クリップで挟んで固定する。
(半日～1日)
クリップがない時は上に重い物を乗せる。

2 糸がゆるんでいる場合



ページとページの間に、竹ぐしでビニール糊をはみ出さない程度に垂らして入れ、終わったらページや糸に付いた余分な糊をふき取る。

その後は「ページはずれ」の時と同じ。

3 やぶれ（のり代がある場合）



- 1 「やまと糊」を少量取り、水で延ばす。
（生クリーム状...筆につけて下に落ちない程度）



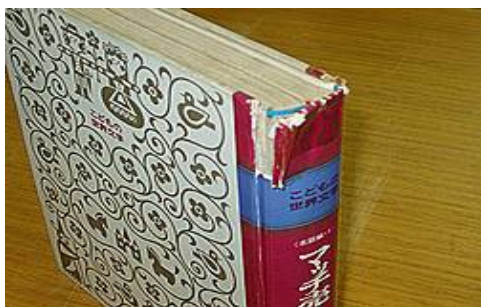
- 2 下に「捨て紙」を敷き、糊を薄く貼る。
貼った箇所がよれないようにのばす。
軽く水分をふき取り、上に捨て紙を置き
本を閉じて乾かす。

4 セロテープをはがす場合

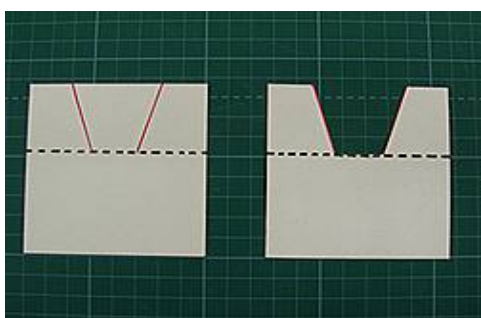


セロテープは貼ってから時間がたつと茶色に変色しはがれてくるため、アイロンを低温であててセロテープをとった後に、補修をする。

5 背表紙が壊れた場合(カバー無し)



1 壊れた箇所を糊で補修する。



- 2 背表紙より大きめに補修用テープを切る。
3 上を 3cm 位山折りにし、折れ目をつける。
4 背の幅 + 2mm 外側に印をつけ、まっすぐ上から 5mm 外側に切れ込みを入れる。
5 切れ込みを入れた真中の部分だけを下に折り曲げて貼る(この時にテープをはがす)
折り曲げると二重になるので丈夫で
ごみも溜まらない。



- 6 テープを本に貼る。
7 上の残りのテープは表紙を広げ、内側に折り曲げて折り込む。

6 カバーがやぶれた場合

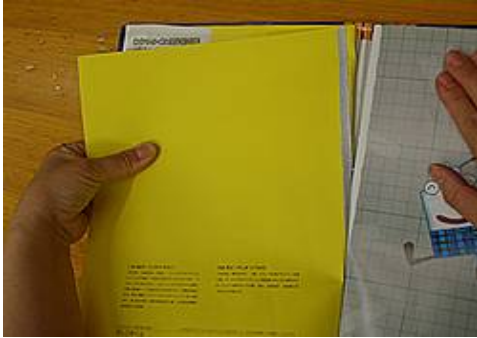


1 補修用テープを破れた箇所 + 3 cm長めに切り、張り付ける。



2 残ったテープをカバーの内側に折り込む。

7 糸とじ修理 1 (糸が切れたり、ゆるんでバラバラになった場合)



- 1 見返し(遊び紙)を手でゆっくり引っ張ってはずす。



- 2 残っていた糸を取除き、糸で縫う箇所が破れている時は先に補修しておく。
- 3 2枚で1セットになっているので、ページの順番を確認しておく。



- 4 2枚1セット分を元の穴の場所に針を入れて縫っていく。



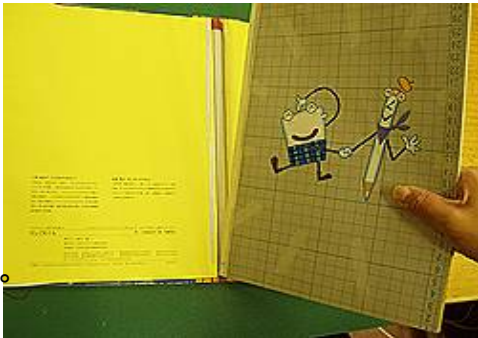
- 5 全部縫い終わったら、きれいにそろえてクリップで固定し、背に糊をぬる。



- 6 寒冷紗を張って糊で固める。
(左右に+1 cm折り曲げる)
ざらざらした方を外側にする



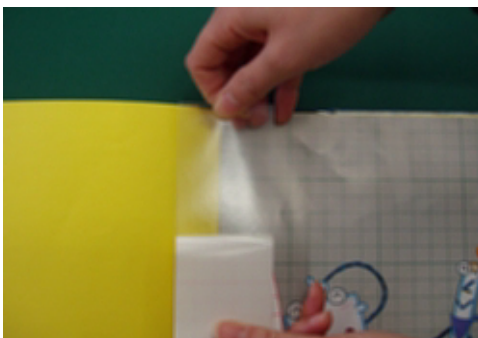
- 7 クリップで固定し、1日程おいて乾かす。



- 8 固まったら、また糊をつけて付ける。
同じ要領で1日程おいて乾かす。



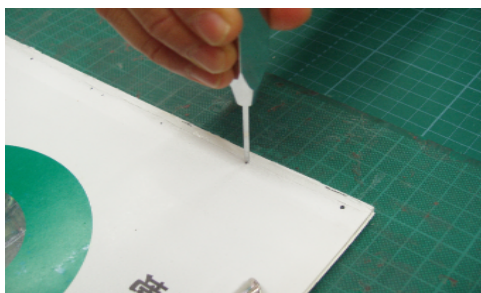
- 9 見返し(遊び紙)がある時は、1 cm
ほど本体側に折り曲げて糊をつけか
ためる



参考...見返しが無い時

- ・見返し紙と同じか似た色の「のど布」
(製本テープ)を貼る
- ・本体に字や写真がかくれてしまう場合は
透明のカバー用フィルムを本の高さに
切り5 cm位の幅で貼る

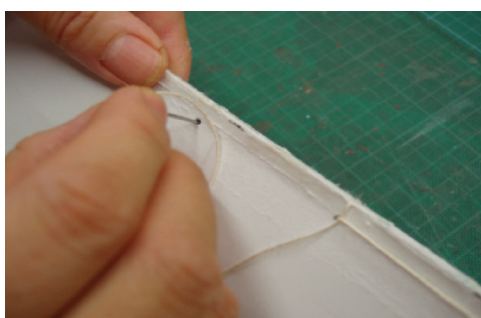
8 糸とじ修理 2 (無せん綴じの本 や 利用の多い本)



- 1 糸とじ修理 1 の要領で、本を解体しておく。
- 2 上下 1 cm 残して印をつける。
- 3 残りを均等に割って (4 ~ 5 cm) 印をつけ目打ちで穴をあける。



- 4 糸が渡るところにノコギリで溝をつける



- 5 麻糸・・本の高さ×2 切る。
- 6 和綴じをする。



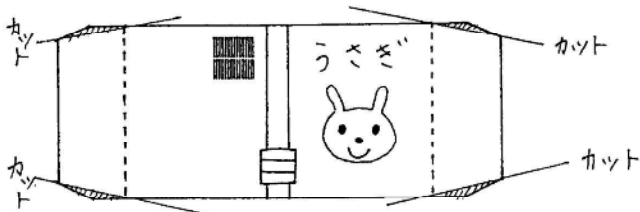
- 7 糸の始末は、玉止めはしない。
その後は「ページはずれ」の時と同じ。

参考資料

図書館員のための図書補修マニュアル	小原 由美子 / 著	教育史料出版会
はじめての和装本	府川 次郎 / 著	文化出版局
和装本の作り方	府川 次郎 / 著	綜芸社
手作り製本術	岩崎 博 / 著	雄鷄社
手製本を楽しむ	栃折 久美子 / 著	大月書店
自分で作る小さな本	田中 淑恵 / 著	文化出版局

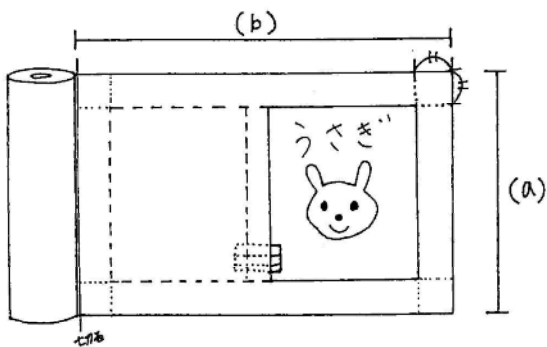
9 本のカバーの掛け方

①本のカバーをはずして、カバーのそでを切る。



このとき、背ラベルがよれていることが多いので、背ラベルとカバーの間に空間ができないよう密着させて貼り直す。
できあがったら、カバーをもとに戻す。

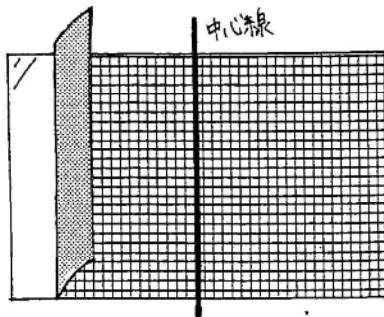
②本をアメニティにあてて、必要な長さに切る。



本の小口側と天地にそれぞれ約2~2.5cm ずつ余裕ができるくらいがいい。背表紙の分のながさも忘れずにとる。

$$(a) = (\text{本の高さ}) + (\text{約 } 4 \sim 5 \text{cm})$$

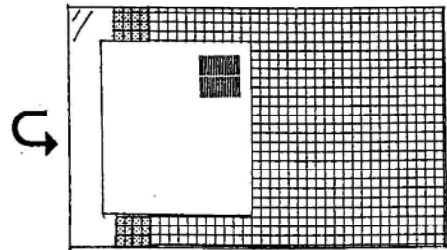
$$(b) = (\text{本の幅} \times 2) + (\text{背表紙の幅}) + (\text{約 } 4 \sim 5 \text{cm})$$



③アメニティを半分に軽く折って、中央にうすく折り目をつける。

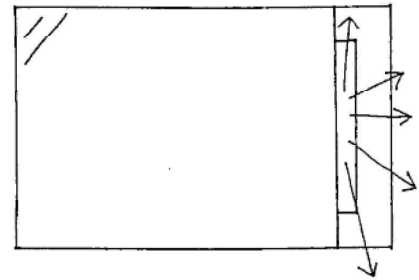
④適当に(めやすとして、全体の約1/8)アメニティの台紙をはがす。

⑤中心線が背表紙のまんなかにくるように、本をそっと置く。

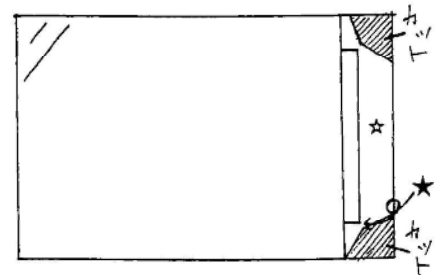


そして本をアメニティごとひっくりかえす。

⑥本と粘着面の接している部分の間に入っている空気を版画の要領で内側から外側へゆっくりおしだしていく。

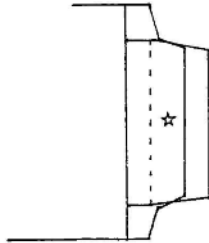


⑦いらぬ部分をカットする。

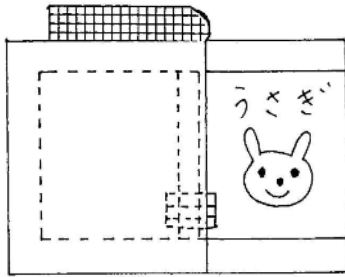


★ 本の角の部分は、本の表紙の厚さ+約1mmの空きをつくる。

⑧カバーそでをひきだし、☆部分と密着させる。

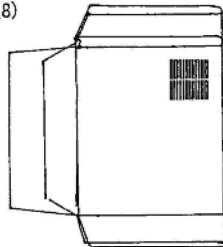


⑨空気をおしだしながら、背ラベルの手前まで密着させる。

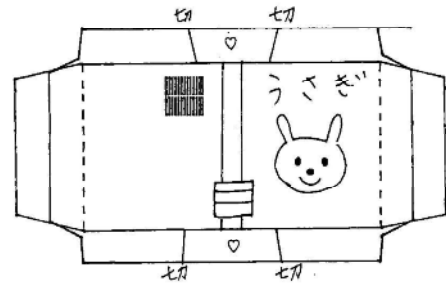


⑩カバーをはずし、背表紙部分を平らにして、空気をおしだしながら、密着させる。

⑪カバーをもとに戻し、
のこりの部分は(6)(7)(8)
とおなじ工程でしあげる。

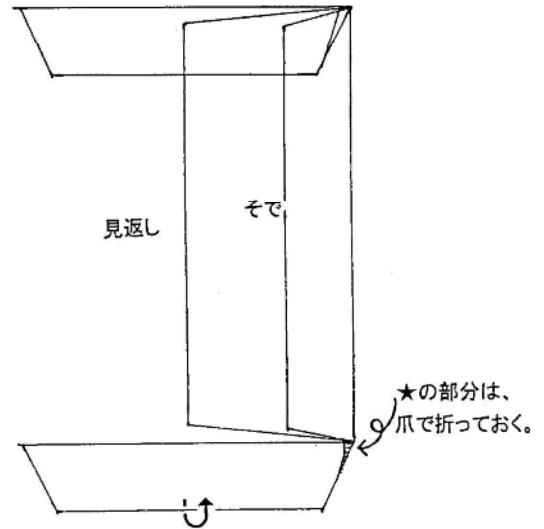


⑫適当な箇所(めやすとして背表紙側から約3~4cm)に切りこみをいれる。できあがったらカバーをはずす。



はずしたカバーの状態

⑬♡部分をカバーの内側に折り込んで、カバーをもとに戻す。
なるべく本を開かないように、のこった部分を本の見返し部分に貼りつける。



いきなり見返しのところを押さえて貼るのではなく、表紙の辺(厚みの部分)から見返し側を順番に押さえて貼りつけていく。

10 補修用品

《カバー用フィルム》・・・接着剤付きのシール式透明フィルム

- ・アメニティコート (キハラ)
23cm 25cm 27cm 30cm 32cm 35cm 40cm
- ・ブックコートフィルム (埼玉福祉会)
- ・ブッカー (規文堂)
- ・クリアタック、フィルムルックス (伊藤伊新社)

《ページヘルパー》・・・紙の破れを補修する薄いフィルムで

透明と和紙タイプがある

- ・ページヘルパー (キハラ、埼玉福祉会、規文堂)
- ・フィルムプラスト (伊藤伊新社)

《補修用糊》・・・酢酸ビニール系の接着剤(紙・木・皮革・布・ガラス他)

- ・ラッキーセメント (キハラ)
- ・製本用のり (埼玉福祉会)
- ・ビニールのり (規文堂)
- ・ビニール糊 (伊藤伊新社)

《その他用品》

- ・やまと糊、平筆・・・やぶれをつくろう時
- ・糸(麻糸、もめん糸)
- ・針・・・ふとん針位長くて、針穴の大きいものが使いやすい
- ・竹ぐし・・・ビニールのりをつける時(細かい作業向き)
- ・刷毛、ヘラ・・・ビニールのりをつける時
- ・クリップ・・・大きいほうが使いやすく、早く固定する
- ・物差し、定規
- ・はさみ、カッターナイフ、カッター板
- ・製本用ノコギリ
- ・寒冷紗・・・代用品として、包帯(伸縮性のないもの)でも可
- ・製本テープ・・・色各種あり
- ・目打ち・木槌・板・・・穴をあける時

以上参考に掲載しましたが、特に上記の製品を推薦しているのではないことを御了承下さい。

本の嫌いなこと

書き込み、切り取り、破り取り厳禁です

ラインマーカーもやめてくださいね

食べ物、飲み物、水、火は本の大敵です

飲食をしながら本をよまないでね

雨の時は袋等に入れて、本を濡らさないでね

金属、糊、熱も本の大敵です

クリップなど金属製のものを本にはさまないでね

付箋紙などを、本に張らないでね

破れた箇所修理に、セロハンテープは使わないでね（本の修理は図書館で行います）

日光の当たる場所に本を置かないでね。（特のフロントガラス付近に）

やさしい取り扱いを本は好みます

本を落とさないでね

開いたまま伏せないでね

表紙を反対に折り返して読まないでね。本がゆがむばかりでなく、壊れる原因となります。

ペットのいる場所に本を放置しないでね

みどりの
図書館
宮崎県立図書館

